

市議会レポート

発行人 代表 浦和三郎
〒362-8501 上尾市本町 3-1-1

西貝塚環境センター
贈収賄事件

他人に厳しく自分に甘い報告書に反対！



修正案の提案理由を説明する町田議員

議会の最終日である12月21日、市長・議長の逮捕につながった贈収賄事件について調査を行う西貝塚環境センターに係る調査特別委員会（井上茂委員長）の報告書について、議員の行動規範を定める、いわゆる「倫理条例」をめぐり議論が紛糾しました。

新政クラブ・公明党は「条例」の文言を避けた内容を主張したため、私たちは条例制定を明確に示した修正案を提示しましたが、力及ばず条例制定から逃げた、他人に厳しく自分に甘い内容の報告書が採択されました。

事件が再び起こることを防ぐためには、きちんとした公的なルールが必要であることは言うまでもありません。今回の採決により上尾市議会は自浄能力がないことを露呈したと言えます。



報告書のここが問題

議員の行動規範を定める倫理条例の記述がない！

新政クラブ・公明党が賛成した報告書には、議員の行動規範を定める「倫理条例」についての記述がありません。これにより、ルールが伴わない単なる理念にとどまってしまい、実効性がないものになってしまっています。



自分に甘い報告書に賛成する新政クラブ・公明党

上尾政策フォーラムの修正案

議員の行動規範としての
条例制定を議会改革特別委員
会で早急に推し進めること



新政クラブ・公明党が賛成した内容

議員の行動規範を定めることを
引き続き議会改革特別委員会で
推し進める

他人に厳しく 自分に甘い 報告書！

市が行うべきとして指摘	議会が行うべきとして指摘
<ul style="list-style-type: none"> 外部から働きかけがあった際に記録を残す制度の創設 内部通報制度の改善 職員の行動規範となる条例の策定 市長室などの入室・面会記録の基準の設定 公用車の適切な利用 契約全般について検査体制の充実の検討 請負審査委員会の透明性・客観性の確保 最低制限価格の設定のあり方の検討 予定価格の事前公表などの問題点の検証 落札方式のあり方の検討 競争入札参加資格審査申請の市独自の審査基準の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 正副議長室などの入室・面会記録の基準の設定 公用車の適切な利用 あっせん利得処罰法の理解と行動規範の策定 議決事件に該当しない契約について議会の関与を検討

修正案の提案理由（概要）

私たちだけでなく、公明党、共産党から出た意見も条例制定を提案しており、この防止策が大多数の会派が求めるものであることは明白であり、記述を報告書から除くという考えは到底理解できない。

事件の責任を市当局に押し付け、自らの責任に目を背けていては、市民から自浄能力のない議会であると糾弾されても何も言い返すことはできない。



報道でも見出しは「条例の制定に触れず」

条例の制定の明記は社会的に当然！

今回の調査特別委員会の報告書についての報道では、見出しで倫理・規範を定める条例について取り上げています。

これは条例制定が社会的には当然のことであり、そのような内容に触れていないことが通常の状態ではないことを示すものです。

私たちは、引き続き議会改革特別委員会などの場でも、議員の行動規範について定める条例の制定に向けて訴えを続けていきます。

『上尾市贈収賄、市議規範条例の制定触れず』

報告書では、市が行うべき再発防止策として、市職員の行動規範となる条例の策定や、入札や契約を検査する体制の充実などを検討するよう求めた。一方、議会が行う再発防止策は「議員の行動規範を定めることを引き続き議会改革特別委員会で推し進める」などとし、市議の行動規範条例は「中身が詰まっていなかったため時期尚早」として触れなかった。

(読売新聞 2018年12月23日(日)朝刊)

新図書館複合施設 建設問題

現在の協議状況と今後について市当局より説明



全議員説明会で説明を受ける

12月6日に「全議員説明会」が開催され、新図書館複合施設について市長をはじめとする市当局から説明がありました。

主な内容は現在の各業者との協議の状況や上平の複合施設の跡地利用の検討案、そして民間施設の活用アイデアについての説明です。このような説明があるまでに時間がかかりましたが、はじめて具体的な進め方が示されたことは評価できると考えています。ここからが再スタートであると捉え、市民全体にとって最も良い着地点が見つけれられるよう努力してまいります。



これまで会派として市民の声を聞かない計画を追及

市民の声を活かし検討を進めることが重要に！

1

関係業者7社中3社と調整が整う



工事請負業者のうち島村工業は8万円の損害賠償の支払いで和解、千代本興業は出来高5,706万7千円を認定しました。施工管理業者の楠山設計は損害賠償なしで調整が整いました。残りの4社(アサヒ住建、栄電業、大川工業所、藤電設)とは現在協議中です。

2

(仮)上平複合施設 検討委員会で今後を検討



上平の新図書館複合施設の跡地をどのように活用していくかは、今後市民や有識者、議員などによる10名程度の検討委員会で検討される予定です。

2019年5月に委員会を立ち上げ、20年度中には基本構想を策定することを想定しています。

3

P.A.P.A.の空き店舗を 公共空間として活用



北上尾駅前のP.A.P.A.のプリンス棟2階の空き店舗(旧ヒマラヤスポーツ)を公共空間として活用し、大規模な修繕が必要とされている図書館本館やコミュニティセンター、総合福祉センターの機能を一時的に移す場とするアイデアが説明されました。

上尾政策フォーラム 所属議員



浦和三郎



池野こうじ



まちだ皇介



井上 茂



えびはら直矢